

FMU 男女共同参画通信

第15号 December 2017
福島県立医科大学男女共同参画支援室

本格的な冬将軍の到来に、見も心も引き締まる思いがしていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。本支援室では、来年も様々なイベントを開催いたします。1月には、先輩医師・看護師と交流するセミナーや研究デザインについてのセミナーも予定しております。来年も、変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「研究支援員の配置に係る要望調査」のご案内

ライフイベント（出産・育児・介護・看護等）を抱えた教員の研究支援を行っております。

つきましては、平成30年度上半期配置分の調査を1月下旬に行います。

支援期間：H30年4月1日～H30年9月30日まで

1. 対象者：本学の主に医学部・看護学部・会津医療センターに所属する助手以上（大学院生も含む）の研究者（性別は問いません）のうち、①～④にあてはまる教員。

①妊娠中

②家庭において、小学校6年生までの児童の主たる養育者である

③同居・別居に問わず要介護認定を受けている親族の主たる介護者である

④その他、上記に準ずる（家族の看病をしている等）状況

2. H29年度は「研究支援員制度実施要項」を改正いたしました。支援を希望される方は、詳細をご確認ください。

ご発表いただきました。11月には、モンゴルの研修員の方々にご発表いただきました。発表終了後のセッションでは、意見交換が活発に行われました。また、中国の武漢大学の留学生の方々や本学にきている留学生の方々にも参加いただき、同時に情報交換もでき、参加者からは「武漢大学の学生の方とのグループトークが出来るととても良かったです」「とても良くわかりやすいプレゼンでした」等の感想が寄せられ、とても有意義なイングリッシュカフェとなりました。

平成29年度全員参加型SD講習会男女共同参画講演会を開催しました

10月13日（金）本学の講堂において、『平成29年度全員参加型SD講習会福島県立医科大学男女共同参画講演会』を開催いたしました。講師に、政策研究大学院大学名誉教授/日本医療政策機構代表理事 黒川清先生と旭川医科大学教授/二輪草センターセンター長 山本明美先生を招聘し、ご講演をいただきました。

黒川先生には「男女共同社会へ；日本の問題」と題して、社会の変化の中でどのように男女共同参画を進めて行くのか時代にあったコンセプトについてお話いただきました。

山本先生には「旭川医科大学での男女共同参画すべての医療職者と医学部学生をまきこむ取り組み」と題して、エレファントバイト方式を用いて、根気強く一つ一つを行い、大きくなるように取り組む対策をお話していただきました。

今後の活動の参考となる、大変有意義な講演会となりました。参加者からは「時代に合った意識改革が重要。全員参加型の組織体制の構築。男女の権利は同じであること。男女共同社会を作ることが重要で、一步一步進むことが重要である」「それぞれの役割と特徴から策を講じるべき点を明確に示していただけたため、聞き入れやすかった」「女性が社会進出することを妨げる古いマインドを変えるべきだ」という意見に共感した」「旭川医科大学では、取り組みが結果として出ていて凄いなと思った。制度を作るだけで満足ではない所が凄いな」との感想が寄せられました。



黒川 清先生



山本 明美先生

FMU イングリッシュカフェを開催しました

毎月、交流の場として「FMUカフェ」を開催しております。9月～11月には、情報交換をしつつ英語力を身に付ける『イングリッシュカフェ』を開催しました。9月は、本学看護学部母性看護学・助産学部門講師 渡邊一代先生にベトナムでの生活についてご発表いただきました。10月には、学生のキャリアと男女共同参画について本学の医学部3年生に



Information

FMU スキルアップセミナー

日時●平成30年1月23日（火）
17:30～18:30
場所●1号館1階カンファランス1
講師●臨床研究イノベーションセンター センター長 福原 俊一先生
内容●研究デザインについて

FMU キャリアサポート交流会

日時●平成30年1月26日（金）
16:30～18:30
場所●8号館1階 S101
講師●大久保 ゆかり先生（東京医科大学医師・学生・研究者支援センターセンター長・教授）
大橋 麻美氏（本学附属病院みらい棟小児特定集中治療室）

FMU キャリアカフェ

日時●平成30年1月9日（火）
16:30～17:30
場所●1号館1階カンファランス1
テーマ●「男女共同参画 現状と今後を語ろう②」
各所属の男女共同参画についての現状やどのようなことが求められているかを参加者で話し合います。

妊娠したらどんな手続きが必要なの？どんな制度があるの？（妊娠から出産するまでの制度）

今後妊娠・出産を考えているけれど仕事との両立が不安…、妊娠したらどのような手続きをしていいのかわからない…、等ライフイベントでお困りな方に、今回はどのような休暇がとれるのか？どのような手続きが必要なのか？本学の制度をご紹介します。



妊娠から出産までの休暇等

- ・妊産婦健診休暇
- ・妊娠障害休暇
- ・通勤緩和休暇
- ・出産休暇
- ・妊産婦の時間外・休日・深夜勤務の制限
- ・妊娠中の休息
- ・危険有害業務の就業制限
- ・業務軽減
- ・配偶者出産休暇
- ・育児参加休暇

雇用形態により有給か無給又は、取得可能な休暇が異なります。

出産休暇（産前産後休暇）とは？

女性職員が出産に際して、出産予定日の8週間前（病院助手等は6週間前）、双子など多胎妊娠の場合は14週間前から、出産後8週間以内 ※2の期間取得できます。

【産前】 出産予定日の8週間前（病院助手等は6週間前）
多胎妊娠の場合は出産予定日の14週間前

【産後】 出産後8週間以内※2

※2 原則として、産後8週間は就業することはできません。ただし、産後6週間を経過した後は、職員が請求して医師が支障がないと認めた場合には就業できます。

★出産休暇の申請★

様式をデスクネットからダウンロードし、医師の診断書又は助産師の証明書を添付し、総務課人事係又は病院経営課病院人事係に提出してください。

出産手当金の支給を受ける

産前・産後休暇期間中、給与が2/3未満支給される或いは、無給となる教職員は、その間の生活を支えるために、健康保険または共済組合により「出産手当金」が支給されます。また、平成26年4月より産前産後休業期間中の保険料免除を受けることができます。

出産育児一時金を受け取る

分娩は疾病ではないので、健康保険の適用とはなりません。健康保険の適用外である健診費、分娩・入院費などの出産費用として「出産育児一時金」が給付されます。健康保険に加入している人（本人および扶養家族）なら、健康保険の種類に関係なく受け取れます

★支給額について★

妊娠4カ月（85日）以上の出産で、子ども1人につき42万円、産科医療補償制度に未加入の医療機関で出産した場合は、40万4千円（平成29年現在）です。双子など多胎の場合は人数分が給付されます。

★出産手当金・出産育児一時金の申請★

様式入手→デスクネット又は、全国健康保険協会ホームページ、公立学校共済組合ホームページからダウンロードし入手することが出来ます。（加入している健康保険により様式が異なります。）

提出先→総務課福利厚生係又は、病院経営課病院人事係に提出してください。

詳しい内容・手続き方法などは、男女共同参画支援室のHP (<http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/system/>) をご覧ください。

本学の育児サポート支援のご案内



大学託児所「すぎのこ園」

教職員及び学生のお子さまの保育（通常保育、夜間保育、一時保育）を行っております。入園希望が多い場合は、お申込みをいただいた場合でも相談の上、入園をお待ちいただくこともあります。どうぞご了承ください。

病児病後児保育所「すくすく」

教職員及び学生のお子さまで病気又は病気の回復期にあり、集団行動が困難な期間、一時的にお預かりする施設です。ご利用にあたってお子様の状況（既往歴、予防接種、アレルギーの有無）を把握するため、予め利用登録が必要となります。

ベビーシッターについて

急な残業や休日の出張などで保育者を探している方に、育児サポート事業所の紹介をしております。

★子ども緊急サポートネットワークふくしま（病児・病後児対応）

住所：福島市在庭坂字石方1-4吾妻・浄土平自然情報センター内

TEL：592-2270 FAX：592-2271

時間：（365日）9：00～17：00

転送電話により24時間対応

★ふくしまファミリーサポートセンター

（病児・病後児対応）

住所：福島市早稲町4-16ラヴィバレー番丁3階

TEL：526-0612 FAX：526-0613

時間：（月～土）8：30～17：00

（日・祝日・年末年始）休業日

※各施設事前に利用登録が必要になります。詳しい内容、登録および利用方法等、詳細については、本支援室にお問い合わせください。

福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、仕事と生活の調和を実現することを目指しています。

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

【連絡先】 E-mail：gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel：024-547-1657 / 内線：2807

HP：http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/

男女共同参画支援室長 小宮 ひろみ

コーディネーター 千葉 篤子